

クラウドレンダリングサービス「Bullet Render Farm」、9月1日よりサービス開始**世界最大規模の GPU 数で高速にレンダリングを実行**

株式会社 A.L.I. Technologies（本社：東京都港区、代表取締役：片野大輔）は、コンピューターグラフィックス(CG)制作プロセスにおけるレンダリング処理を、自律分散アルゴリズムを用いて高速に実行するクラウドサービス「Bullet Render Farm（ブレットレンダーファーム）<http://www.bulletrenderfarm.com>」を2019年9月1日(日)より開始いたしました。

 **BULLET RENDER FARM**

「Bullet Render Farm」は、接続数に制限のあった従来型のレンダーファームとは異なり、独自に開発した自律分散型アルゴリズムを用いることで、GPU数に制限なく効率的に稼働させられることが特徴です。レンダーファームとしては世界最大規模のGPU数で運用されており、高速なレンダリング処理を可能としています。さらに、レンダーファームは日本国内のみで運営し、クラウドサービス利用への不安を取り除くべく万全の対策を講じています。

「Bullet Render Farm」のサービスは、アップロードされたレンダリング設定済みのファイルについて、①見積りにレンダリング（サンプルフレームの指定も可能）、②見積り料金・時間の提示、③確認・受注後にクラウド上で高速レンダリング、とシンプルな3つの工程で構成されています。ユーザーが発注の意思決定をする際に、サンプルフレームの仕上がり・見積り料金・完了の予測時間を確認でき、また、レンダリング処理の実行中は各フレームの処理の進捗をリアルタイムで確認できます。

CGアニメーション制作や建築ヴィジュアライゼーションなど、高度な画像制作に欠かせないレンダリングの処理時間を高速化することで、創作活動時間の最大化や高性能マシン維持にかかる負担軽減など、CG業界の活性化につながるソリューションを提供してまいります。

料金形態は、プールされたGPUをシェアリングする従量課金制と、一定数のGPUをプライベート利用す

る月額固定制の2種類のプランを用意。従量課金プランは、1GPUの1時間稼働あたり180円で、稼働されるGPU数はその時に空いている全てのGPUを用いてレンダリングが実行されます。月額固定プランは、待ち時間なく一定速度が担保されるため、ユーザーの利用頻度に合わせGPU数の割り当てなどカスタマイズされます。

今夏ロサンゼルスにて開催されたCGの展示会「SIGGRAPH 2019」での発表のとおり(<https://ali.jp/2019/07/31/1835/>)、「Bullet Render Farm」は、米国の半導体メーカーAdvanced Micro Devices社(以下、「AMD社」と共同で開発を進めてまいりました。「Bullet Render Farm」は現在、AMD社の物理ベース高性能レンダリングエンジン「Radeon™ ProRender」で生成したファイルでのレンダリングに対応しております。「Radeon™ ProRender」は、主要3Dコンテンツ制作アプリケーションで利用可能なプラグインを無料で配布しており、Windows®、OS XおよびLinux®に対応し、AMD社製のGPUに加え、AMD社以外のGPUやCPUもサポートしています。

◆「Bullet Render Farm」

ホームページ：www.bulletrenderfarm.com

Twitter：<https://twitter.com/BulletRender>

対応ファイル：「Radeon™ ProRender」のrprファイル

料金：従量課金プラン；1GPU1時間あたり180円、課金は秒単位(0.05円/GPU・秒)、別途トランザクション費用として30円/都度。稼働されるGPU数はその時に空いている全てのGPUを用いてレンダリングが実行されるが、料金はGPUの数に抛らず依頼された仕事量によって算出

月額固定プラン；ユーザーの利用頻度に合わせカスタマイズ。待ち時間なし、一定速度の担保

◆株式会社A.L.I. Technologiesについて

A.L.I.は、AI搭載型ドローンをはじめ各種ソリューションビジネスを展開するドローン・AI事業、独自の自律分散処理システムにより、世界中のコンピューティングパワーをシェアリングする演算力シェアリング事業、世界初の実用型ホバーバイクの販売を2020年に目指すエアモビリティ事業を展開しております。

A.L.I.は、今後も、既存の発想に捉われず、ドローン、AI、ブロックチェーン等のテクノロジーを活用したプロダクトを開発し、イノベーションを起こし続けてまいります。

公式サイト：<https://ali.jp/>

お問い合わせ先：info@ali.jp (広報ユニット)

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。